

やまがた障がい者芸術作品公募展 2023 年 11 月 2 日～15 日／来場者 762 人

公募した作品全作品 190 点を展示しました。事前審査にて、表現のきざしとそれに寄り添うまなざしをテーマに審査を行い、きざしとまなざし賞 1 点、きざしとまなざしファイナリスト 1 点、山形県知事賞 1 点、審査員賞 5 点、入選 20 点を選出し、作品の背景を語るまなざしコメント、審査員のまなざしコメントも掲示しました。また、開催期間中に来場者が選ぶオーディエンス賞 1 点選出しました。



アンケート 自由記述(一部)

- ・ 普段なじみのない芸術に、今日はゆっくり向き合うことができ、良い時間。すべての作品に作者それぞれの個性が出ていて素敵でした。
- ・ 作者はもちろん、支えているご家族、スタッフのあたたかさを感じました。
- ・ とても生きていて動いている作品たち。かっこよかったです。
- ・ 作者さん達の作品への想いが様ざまに素敵だなと思いました。
- ・ のびのびと描くということ、そのたのしさに触れることができ、新たな感性に気づかされました。
- ・ もっと作品をみたい、作者に会ってみたい、そんな気持ちになりました。
- ・ 表現方法のバラエティーの多さに驚いた。

オーディエンス賞／作品名：「馬見ヶ崎川」 作家名：奏

来場者のまなざしコメント

- ・ なぜだかわかりませんが、とても惹かれました。
- ・ 絵、全体にたゆたうような暗さが、なつかしい気持ちにさせてくれます。
- ・ 画面のミリョク。物語を感じた。
- ・ 暗い印象のなかに暖かさがある絵、作者の心が響いてくる場所。



福島・新潟からの招待作品



福島、新潟より、きざしとまなざしを感じる作品 4 点を招待作品として展示しました。

福島県：アスペル No. 28 「「ロールシャッハ！？みんなでロールシャッハ！？」、丸山 元気「ぐるぐるです。」

新潟県：土田 学「緑がいっぱい道につながる様々な風景そしてスマイル」、本間 葉子「ポンポン」

11月4日 8日 10日 12日 15日／おめでとう&相談 day／参加者：14人



予約制で、審査員から賞状お渡ししたり、作品についてゆっくり対話をする場を作りました。相談会では、作家同士の交流や、出展者やご家族や事業所の職員から作品制作についての相談がありました。

11月7日 12日／ギャラリートーク／参加者：12人(7日)、6人(12日)



ゲストの審査員のまなざしコメントを聞きながら作品を鑑賞しました。審査員からは作品を選んだ視点やどんなところに惹かれたか等のお話があり、参加した作家は祝福を受けて、あたたかい言葉が行き交う場でした。その様子は後日 YouTube で配信し、来場できない方にも広く発信しました。

東北芸術工科大学総合美術コース3年生とのコラボレーション企画



●ワークショップ「ぺたぺたよう」／展示「我々ハ夢中人ダ！」

「ぺたぺたよう」は、来場者だれでも参加できるワークショップで多くの方が参加してくれて、たくさんの太陽の“カケラ”が集まり、力強い共同作品ができました。展示では、児童デイサービス「月のひかり」に学生が訪問し、創作活動を通して関わり合いながら制作した作品を展示しました。夢中になって取り組む子供達の姿と創作活動のテーマであった「宇宙をつくる」から発想を得て「我々ハ夢中人ダ！」とタイトルをつけ、絵画、紙皿やスポンジ、紙粘土の立体作品で構成する、ワクワクするような空間をつくりました。